

運用報告書（全体版）

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年9月30日から2026年8月10日まで	
運用方針	①主として日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。 ②ブラジル・リアルで為替取引を行います。	
主要投資対象	りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド ブラジルリアルコース	投資信託証券
	日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド （クラス2）	アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等
	ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド （クラス2）	
	マネーパールマザーファンド	わが国の公社債等
主な組入制限	りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド ブラジルリアルコース	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 デリバティブの直接利用は行いません。 株式への直接投資は行いません。
	日興アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド （クラス2）	有価証券の空売りは行いません。 純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 投資信託証券への投資は行いません。
	ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド （クラス2）	
	マネーパールマザーファンド	株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得したものに限るものとし、投資割合は信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド ブラジルリアルコース

第131期（決算日	2022年9月12日）
第132期（決算日	2022年10月11日）
第133期（決算日	2022年11月10日）
第134期（決算日	2022年12月12日）
第135期（決算日	2023年1月10日）
第136期（決算日	2023年2月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、「りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド
 ブラジルリアルコース」は、このたび第136期の決算
 を行いましたので、第131期～第136期中の運用状況をご
 報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上
 げます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<https://www.sompo-am.co.jp/>

お問い合わせ先



リテール営業部 0120-69-5432
 （受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の正式名称については
 後掲「■主要投資対象の投資信託証券の概要」をご覧ください。

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率 %	投 資 信 託 組 入 比 %	純 資 産 額 百 万 円
		税 分	込 配	み 金 期 騰 落				
107期(2020年9月10日)	円 2,119		円 20			—	96.5	2,910
108期(2020年10月12日)	1,991		20	△	5.1	—	95.9	2,686
109期(2020年11月10日)	2,045		20		3.7	—	96.2	2,691
110期(2020年12月10日)	2,114		20		4.4	—	96.9	2,742
111期(2021年1月12日)	1,948		20	△	6.9	—	95.5	2,493
112期(2021年2月10日)	1,943		20		0.8	—	95.3	2,471
113期(2021年3月10日)	1,865		20	△	3.0	—	94.8	2,358
114期(2021年4月12日)	1,931		20		4.6	—	96.1	2,422
115期(2021年5月10日)	2,051		20		7.3	—	96.3	2,550
116期(2021年6月10日)	2,110		20		3.9	—	95.9	2,613
117期(2021年7月12日)	1,992		20	△	4.6	—	95.7	2,445
118期(2021年8月10日)	1,949		20	△	1.2	—	95.3	2,376
119期(2021年9月10日)	1,935		20		0.3	—	95.0	2,342
120期(2021年10月11日)	1,718		20	△	10.2	—	94.9	2,046
121期(2021年11月10日)	1,570		20	△	7.5	—	94.3	1,848
122期(2021年12月10日)	1,642		20		5.9	—	96.1	1,900
123期(2022年1月11日)	1,588		20	△	2.1	—	95.1	1,808
124期(2022年2月10日)	1,659		20		5.7	—	95.2	1,865
125期(2022年3月10日)	1,563		20	△	4.6	—	93.8	1,751
126期(2022年4月11日)	1,806		20		16.8	—	95.1	2,020
127期(2022年5月10日)	1,718		20	△	3.8	—	94.8	1,911
128期(2022年6月10日)	1,816		20		6.9	—	95.9	2,017
129期(2022年7月11日)	1,594		20	△	11.1	—	94.9	1,766
130期(2022年8月10日)	1,589		20		0.9	—	95.4	1,760
131期(2022年9月12日)	1,707		20		8.7	—	95.3	1,885
132期(2022年10月11日)	1,654		20	△	1.9	—	94.6	1,824
133期(2022年11月10日)	1,574		20	△	3.6	—	96.2	1,734
134期(2022年12月12日)	1,609		20		3.5	—	96.7	1,761
135期(2023年1月10日)	1,603		20		0.9	—	97.1	1,746
136期(2023年2月10日)	1,610		20		1.7	—	95.1	1,742

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり(以下同じ)。

(注3) 債券組入比率はマネーブルマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 投資信託証券組入比率は「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス2)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス2)」の組入比率。

(注5) 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス2)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(クラス2)」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載していません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準	価 額		債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	率		
第131期	(期 首) 2022年 8 月10日	円		%	%	%
	8 月末	1,589	—	—	—	95.4
	(期 末) 2022年 9 月12日	1,711	7.7	—	—	95.7
第132期	(期 首) 2022年 9 月12日	1,707	—	—	—	95.3
	9 月末	1,612	△5.6	—	—	95.0
	(期 末) 2022年10月11日	1,674	△1.9	—	—	94.6
第133期	(期 首) 2022年10月11日	1,654	—	—	—	94.6
	10 月末	1,553	△6.1	—	—	96.2
	(期 末) 2022年11月10日	1,594	△3.6	—	—	96.2
第134期	(期 首) 2022年11月10日	1,574	—	—	—	96.2
	11 月末	1,575	0.1	—	—	95.9
	(期 末) 2022年12月12日	1,629	3.5	—	—	96.7
第135期	(期 首) 2022年12月12日	1,609	—	—	—	96.7
	12 月末	1,595	△0.9	—	—	97.3
	(期 末) 2023年 1 月10日	1,623	0.9	—	—	97.1
第136期	(期 首) 2023年 1 月10日	1,603	—	—	—	97.1
	1 月末	1,674	4.4	—	—	97.8
	(期 末) 2023年 2 月10日	1,630	1.7	—	—	95.1

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

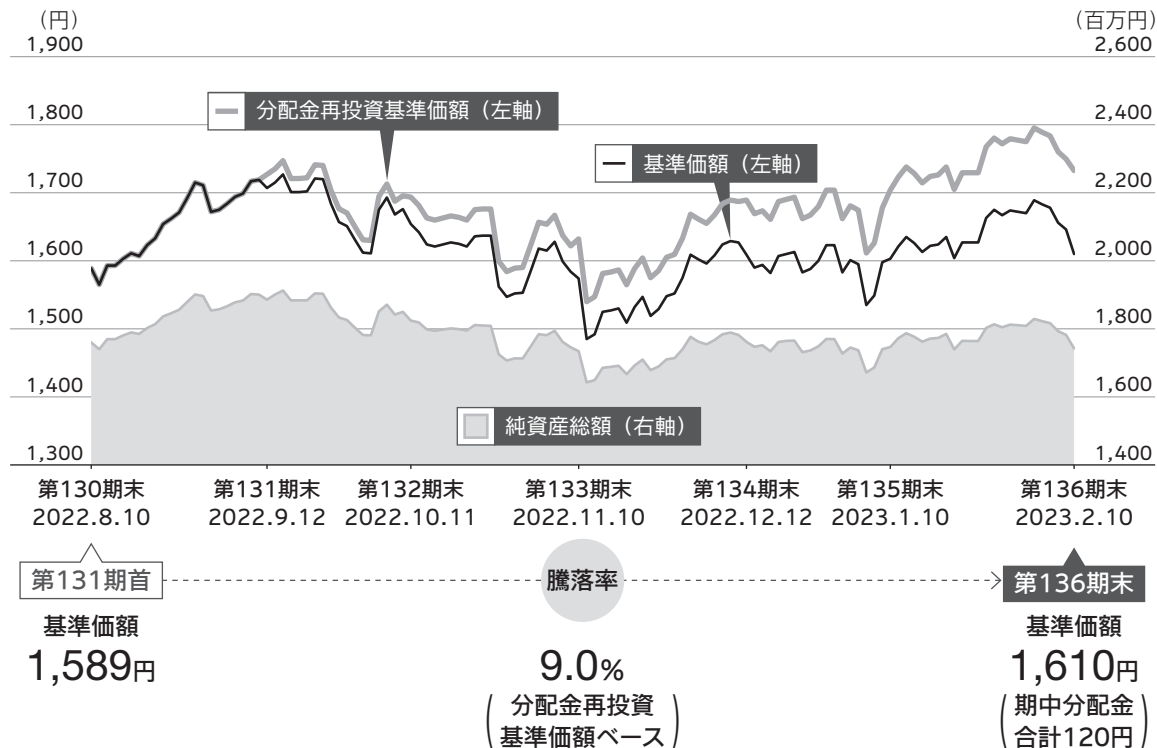
(注2) 債券組入比率はマネーブルマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 投資信託証券組入比率は「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス2)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス2)」の組入比率。

(注4) 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス2)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス2)」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

運用経過

● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2022年8月10日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス2）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス2）」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド ブラジルリアルコース

主要投資対象である「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス2)」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラス2)」は、ともに為替部分がマイナスに寄与した一方、債券部分がプラスに寄与した結果、分配金再投資基準価額の騰落率はプラスとなりました。

- 本報告書では、ベビーファンド、マザーファンドおよびマザーファンド以外のファンドを下記の様に統一して表記しています。



ベビーファンド



マザーファンド



マザーファンド以外のファンド

● 投資環境

当期のアジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

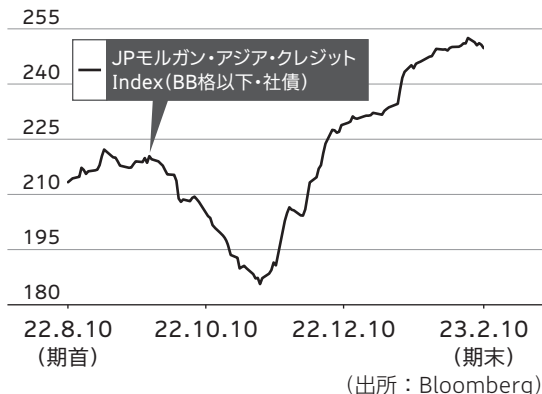
期前半は、米国の消費者物価指数が市場予想を上回る伸びとなり、FRB（米連邦準備理事会）による金融引き締め政策の長期化観測が高まったことから米国国債利回りが上昇（価格は下落）する中、クレジットスプレッドが拡大したことから、下落基調で推移しました。

2022年11月以降は、軟調な消費者物価指数を受けて米国の物価上昇がピークアウトしたとの観測が広がり、米国国債利回りが低下（価格は上昇）基調となったことに加えて、中国政府のゼロコロナ政策撤廃や不動産セクターへの支援拡大などを好感する形でクレジットスプレッドが縮小したことから、期末にかけて上昇しました。

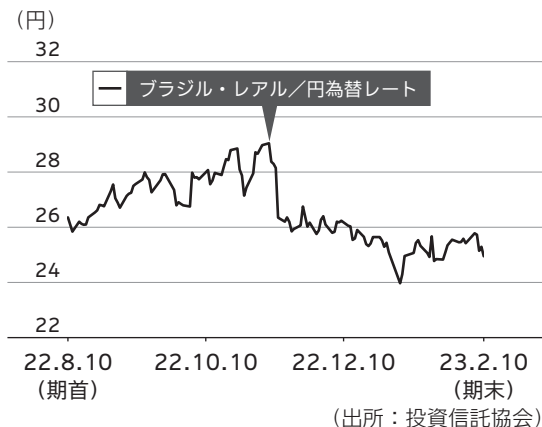
当期の為替市場は、FRBによる金融引き締め政策の長期化を織り込む形で2022年10月までは円安ドル高基調で推移しましたが、11月以降、FRBの利上げ観測が後退したことなどを背景に円高ドル安が進みました。

ブラジルリアルについては、2022年11月以降、米ドルが対円で下落基調となる中、ルラ新政権による財政健全化に対する懸念などを背景に対円で下落しました。

市況の推移



為替レートの推移



注. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス2）」および「ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス2）」の投資比率を高位に維持しました。

日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス2）

アジア・ハイ・イールド債券のクーポン収入などがプラスに寄与したことに加えて、クレジットスプレッドが縮小したことから、債券部分はプラスに寄与しました。

ブラジルリアルは、対円で下落したことから、為替部分はマイナスに寄与しました。

ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス2）

アジア・ハイ・イールド債券のクーポン収入などがプラスに寄与したことに加えて、クレジットスプレッドが縮小したことから、債券部分はプラスに寄与しました。

ブラジルリアルは、対円で下落したことから、為替部分はマイナスに寄与しました。

マネープールマザーファンド

コール・ローン等の短期金融資産による運用を行いました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス2）」および「ライオンアジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス2）」の投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期
	2022.8.11 } 2022.9.12	2022.9.13 } 2022.10.11	2022.10.12 } 2022.11.10	2022.11.11 } 2022.12.12	2022.12.13 } 2023.1.10	2023.1.11 } 2023.2.10
当期分配金	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	1.158%	1.195%	1.255%	1.228%	1.232%	1.227%
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	6,393	6,404	6,406	6,409	6,412	6,423

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

注4. 投資信託特有の会計処理により、「翌期繰越分配対象額」が基準価額を上回っている場合がありますが、実際に基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

決算期毎にインカム収入[※]を中心に分配を行うことを目指すファンドです。

※ インカム収入とは、債券の利子収入、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）収入等をいいます。

- ・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。
- ・ 投資対象資産や為替の値動き等により基準価額が下落した場合でも、原則として、インカム収入相当については、分配を行います。

● 今後の運用方針

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド ブラジルリアルコース

今後も、「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス2）」および「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス2）」の投資比率を高位に保つことにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス2）

中国経済の早期回復に伴う観光客の増加や輸出支援などを通じて、アジア各国の経済への波及効果が期待されます。アジア社債市場のクレジットスプレッドは、アジア各国の経済および企業の堅調なファンダメンタルズを背景に当面堅調に推移する見通しです。当ファンドでは、市場動向を注視しながら、クレジットの質を重視するとともに、引き続き先行きの不透明な市場環境が続く見込みであることを考慮し、価格変動性が高い銘柄の組入れを抑制するなど、慎重なポートフォリオ運営を行う方針です。

ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス2）

FRBによる利上げペースの減速見通しや、中国政府のゼロコロナ政策撤廃や不動産セクターへの支援拡大などを背景にアジア債券市場への資金流入傾向が強まっており、足元のバリュエーションはやや割高となっていますが、クレジットスプレッドは当面堅調に推移する見通しです。また、より多くの発行体が市場へ参入し、市場の流動性も向上する見通しです。当ファンドにおいては、保有銘柄の価格下落リスクに配慮しつつ、企業の財務健全性や市場の流動性を注視しながら、引き続き銘柄選択に注力し、リスクを抑制したポートフォリオ運営を行う方針です。

マネープールマザーファンド

コール・ローン等の短期金融資産による運用を行う方針です。

● 1万口当たりの費用明細

項目	第131期～第136期 2022.8.11～2023.2.10		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	8円	0.510%	(a)信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は1,620円です。
(投信会社)	(3)	(0.211)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(5)	(0.283)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(0)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.010	(b)その他費用＝ $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
(監査費用)	(0)	(0.010)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	8	0.520	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

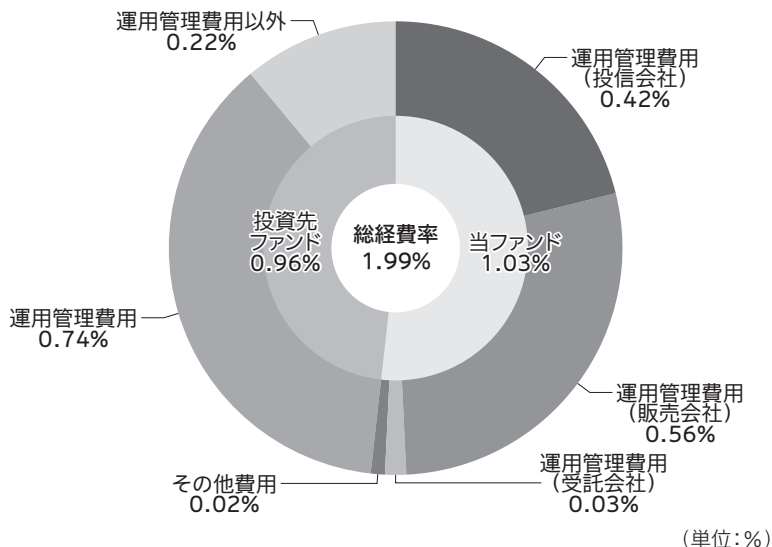
注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

注4. 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.99%**です。



総経費率(①+②+③)	1.99
①当ファンドの費用の比率	1.03
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.74
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.22

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

注5. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

注6. 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

注7. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年8月11日～2023年2月10日)

投資信託証券

銘柄		第131期～第136期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund II	241,859	16,000	236,921	16,000
	Lion Global Investors Asian High Yield Bond Fund Class 2 (BRL)	237,368	16,000	230,087	16,000
	合計	479,227	32,000	467,008	32,000

(注1) 金額は受渡代金。
 (注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年8月11日～2023年2月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年2月10日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第130期末	第136期末		
		口数	口数	評価額	比率
国内	NikkoAM Asia Investment Series-NikkoAM AsiaHighYieldBondFund II	14,907,443	14,912,382	966,009	55.4
	Lion Global Investors Asian High Yield Bond Fund Class 2 (BRL)	10,489,386	10,496,667	691,289	39.7
	合計	25,396,829	25,409,049	1,657,298	95.1

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託残高

銘 柄	第130期末		第136期末		
	口	数	口	数	
マネーパールマザーファンド		千口 18,306		千口 18,306	評 価 額 千円 18,297

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 当ファンドは、第136期末において、直接投資をする株式及び新株予約権証券の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2023年2月10日現在)

項 目	第136期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,657,298	93.8
マネーパールマザーファンド	18,297	1.0
コール・ローン等、その他	90,854	5.2
投資信託財産総額	1,766,449	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第131期末	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末	第136期末
	2022年9月12日現在	2022年10月11日現在	2022年11月10日現在	2022年12月12日現在	2023年1月10日現在	2023年2月10日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,916,313,363	1,851,308,752	1,759,933,050	1,792,873,282	1,771,272,220	1,766,449,482
コール・ローン等	100,422,133	106,909,393	73,841,508	70,651,553	57,915,791	90,853,254
投資信託受益証券(評価額)	1,797,584,580	1,726,094,540	1,667,788,554	1,703,920,571	1,695,057,102	1,657,298,732
マネーパールマザーファンド(評価額)	18,306,650	18,304,819	18,302,988	18,301,158	18,299,327	18,297,496
(B) 負債	30,663,127	26,998,714	25,519,031	31,125,805	24,896,016	23,990,129
未払収益分配金	22,091,601	22,064,664	22,038,103	21,898,593	21,782,935	21,651,637
未払解約金	6,864,784	3,408,898	1,972,441	7,675,251	1,685,464	770,911
未払信託報酬	1,674,825	1,495,412	1,478,258	1,522,267	1,401,265	1,536,611
未払利息	275	-	222	212	-	-
その他未払費用	31,642	29,740	30,007	29,482	26,352	30,970
(C) 純資産総額(A-B)	1,885,650,236	1,824,310,038	1,734,414,019	1,761,747,477	1,746,376,204	1,742,459,353
元本	11,045,800,509	11,032,332,092	11,019,051,996	10,949,296,760	10,891,467,739	10,825,818,589
次期繰越損益金	△ 9,160,150,273	△ 9,208,022,054	△ 9,284,637,977	△ 9,187,549,283	△ 9,145,091,535	△ 9,083,359,236
(D) 受益権総口数	11,045,800,509口	11,032,332,092口	11,019,051,996口	10,949,296,760口	10,891,467,739口	10,825,818,589口
1万円当たり基準価額(C/D)	1,707円	1,654円	1,574円	1,609円	1,603円	1,610円

(注1) 当作成期間(第131期～136期)における期首元本額11,073,688,021円、期中追加設定元本額272,025,659円、期中一部解約元本額519,895,091円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額

第131期0.1707円、第132期0.1654円、第133期0.1574円、第134期0.1609円、第135期0.1603円、第136期0.1610円

(注3) 期末における元本の欠損金額

第131期9,160,150,273円、第132期9,208,022,054円、第133期9,284,637,977円、第134期9,187,549,283円、第135期9,145,091,535円、第136期9,083,359,236円

○損益の状況

項 目	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期
	2022年8月11日～ 2022年9月12日	2022年9月13日～ 2022年10月11日	2022年10月12日～ 2022年11月10日	2022年11月11日～ 2022年12月12日	2022年12月13日～ 2023年1月10日	2023年1月11日～ 2023年2月10日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	35,764,087	35,845,710	25,864,885	25,790,533	25,872,332	35,899,995
受取配当金	35,771,247	35,850,519	25,868,747	25,795,192	25,876,058	35,901,300
支払利息	△ 7,160	△ 4,809	△ 3,862	△ 4,659	△ 3,726	△ 1,305
(B) 有価証券売買損益	118,014,056	△ 71,313,391	△ 90,025,550	35,911,653	△ 8,759,163	△ 6,148,944
売買益	118,624,234	186,637	276,855	36,222,215	96,493	1,230,069
売買損	△ 610,178	△ 71,500,028	△ 90,302,405	△ 310,562	△ 8,855,656	△ 7,379,013
(C) 信託報酬等	△ 1,706,127	△ 1,525,152	△ 1,507,827	△ 1,559,226	△ 1,427,456	△ 1,567,581
(D) 当期損益金(A+B+C)	152,072,016	△ 36,992,833	△ 65,668,492	60,142,960	15,685,713	28,183,470
(E) 前期繰越損益金	△ 4,842,489,370	△ 4,688,729,292	△ 4,722,397,097	△ 4,759,284,364	△ 4,676,603,118	△ 4,635,048,758
(F) 追加信託差損益金	△ 4,447,641,318	△ 4,460,235,265	△ 4,474,534,285	△ 4,466,509,286	△ 4,462,391,195	△ 4,454,842,311
(配当等相当額)	(5,649,609,163)	(5,648,118,131)	(5,647,188,481)	(5,617,386,786)	(5,593,500,160)	(5,565,526,786)
(売買損益相当額)	(△10,097,250,481)	(△10,108,353,396)	(△10,121,722,766)	(△10,083,896,072)	(△10,055,891,355)	(△10,020,369,097)
(G) 計(D+E+F)	△ 9,138,058,672	△ 9,185,957,390	△ 9,262,599,874	△ 9,165,650,690	△ 9,123,308,600	△ 9,061,707,599
(H) 収益分配金	△ 22,091,601	△ 22,064,664	△ 22,038,103	△ 21,898,593	△ 21,782,935	△ 21,651,637
次期繰越損益金(G+H)	△ 9,160,150,273	△ 9,208,022,054	△ 9,284,637,977	△ 9,187,549,283	△ 9,145,091,535	△ 9,083,359,236
追加信託差損益金	△ 4,447,641,318	△ 4,460,235,265	△ 4,474,534,285	△ 4,466,509,286	△ 4,462,391,195	△ 4,454,842,311
(配当等相当額)	(5,649,609,159)	(5,648,118,129)	(5,647,188,479)	(5,617,386,783)	(5,593,500,157)	(5,565,526,784)
(売買損益相当額)	(△10,097,250,477)	(△10,108,353,394)	(△10,121,722,764)	(△10,083,896,069)	(△10,055,891,352)	(△10,020,369,095)
分配準備積立金	1,412,378,691	1,417,542,500	1,412,317,891	1,400,707,353	1,390,250,236	1,388,852,883
繰越損益金	△ 6,124,887,646	△ 6,165,329,289	△ 6,222,421,583	△ 6,121,747,350	△ 6,072,950,576	△ 6,017,369,808

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程(2022年8月11日～2023年2月10日)は以下の通りです。

項 目	2022年8月11日～ 2022年9月12日	2022年9月13日～ 2022年10月11日	2022年10月12日～ 2022年11月10日	2022年11月11日～ 2022年12月12日	2022年12月13日～ 2023年1月10日	2023年1月11日～ 2023年2月10日
a. 配当等収益(費用控除後)	35,365,453円	34,319,479円	24,355,782円	25,137,270円	24,443,313円	34,331,688円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	5,649,609,159円	5,648,118,129円	5,647,188,479円	5,617,386,783円	5,593,500,157円	5,565,526,784円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	1,399,104,839円	1,405,287,685円	1,410,000,212円	1,397,468,676円	1,387,589,858円	1,376,172,832円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	7,084,079,451円	7,087,725,293円	7,081,544,473円	7,039,992,729円	7,005,533,328円	6,976,031,304円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	6,413円	6,424円	6,426円	6,429円	6,432円	6,443円
g. 分配金	22,091,601円	22,064,664円	22,038,103円	21,898,593円	21,782,935円	21,651,637円
h. 分配金(1万口当たり)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

○分配金のお知らせ

	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期
1 万口当たり分配金（税込み）	20円	20円	20円	20円	20円	20円

<分配金をお支払いする場合>

- ・分配金は、原則として各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しています。

<分配金を再投資する場合>

- ・お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資しています。

<課税上の取扱いについて>

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本と同額の場合または個別元本を上回っている場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、収益分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人の受益者に対する課税
 税率は普通分配金について、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）です。

※上記は源泉徴収時の税率であり、税率は課税方法等により異なる場合があります。

※少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※法人の受益者に対する課税は、税率が異なります。

※上記内容は、税法が改正された場合等には変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家または税務署等にご確認ください。

<参考情報>組入れ投資信託証券の内容

■主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	<p>■日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (Nikko AM Asia Limited Investment Series-Nikko AM アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド クラス2)</p>	
形態	ケイマン籍外国投資信託 (円建て)	
運用の基本方針	<p>①主として、アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等に投資します。 ②原則として以下の通貨で為替取引 (対米ドル等) を行います。</p>	
	ブラジルリアル	クラス2
主な投資制限	<p>①有価証券の空売りは行いません。 ②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ③投資信託証券への投資は行いません。</p>	
決算日	毎年12月31日	
信託報酬等	<p>純資産総額に対して年率0.77% ※年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。 ※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等 (監査費用、弁護士費用等)、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。</p>	
申込・解約手数料	ありません。	
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド	

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の名称及びその運用会社の名称等は今後変更となる場合があります。

■ 包括利益計算書

(2021年1月1日から2021年12月31日まで)
アメリカドル

収益	
銀行利息	824
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る純利益/損失 (△)	△15,065,074
為替差損益	△ 1,927
損益合計	△15,066,177
費用	
支払利息	△ 341
投資運用報酬	△ 626,293
投資運用報酬 払戻料	31,370
管理報酬	△ 36,599
監査報酬	△ 44,106
保管報酬	△ 32,607
受託者報酬	△ 14,991
その他営業費用	△ 64,653
営業費用合計	△ 788,220
税引前・分配前利益 (損失)	△15,854,397
税金	—
税引後・分配前利益 (損失)	△15,854,397
分配金	△13,052,827
営業活動による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少	△28,907,224

主要投資対象のひとつである投資信託証券「Nikko AM Asia Limited Investment Series Nikko AM アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の財務諸表を委託会社にて翻訳したものです。

■ 組入上位銘柄

(2021年12月31日現在)

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	純資産構成比
VEDANTA RESOURCES LIMITED 6.375% 30-JUL-2022	インド	6.375%	2022/7/30	3.9%
HUARONG FINANCE 2017 CO. LTD. 4.0% PERP	中国	4.000%	永久債	3.8%
POWERLONG REAL ESTATE HOLDINGS LTD. 7.125% 08-NOV-2022	中国	7.125%	2022/11/08	3.8%
RIZAL COMMERCIAL BANKING CORPORATION 6.5% PERP	フィリピン	6.500%	永久債	3.0%
SMC GLOBAL POWER HOLDINGS CORP. 6.5% PERP	フィリピン	6.500%	永久債	3.0%
CHINA HONGQIAO GROUP LTD. 6.25% 08-JUN-2024	中国	6.250%	2024/6/8	2.9%
TMBTHANACHART BANK PUBLIC COMPANY LIMITED 4.9% PERP	タイ	4.900%	永久債	2.7%
WANDA PROPERTIES OVERSEAS LTD. 7.25% 28-APR-2022	中国	7.250%	2022/4/28	2.7%
ABJA INVESTMENT CO. PTE LTD. 5.45% 24-JAN-2028	インド	5.450%	2028/1/24	2.6%
SEAZEN GROUP LTD. 6.45% 11-JUN-2022	中国	6.450%	2022/6/11	2.5%

「日興 アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社である日興アセットマネジメント アジア リミテッドが作成したデータを、委託会社にて翻訳したものです。

■主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	■ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (Lion Global Asian High Yield Bond Fund-Lion Global Investors アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド クラス2)	
形態	ケイマン籍外国投資信託 (円建て)	
運用の基本方針	①主として、アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等に投資します。 ②原則として以下の通貨で為替取引 (対米ドル等) を行います。	
	ブラジルリアル	クラス2
主な投資制限	①有価証券の空売りは行いません。 ②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ③投資信託証券への投資は行いません。	
決算日	毎年12月31日	
信託報酬等	純資産総額に対して年率0.77% ※年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。 ※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等 (監査費用、弁護士費用等)、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。	
申込・解約手数料	ありません。	
投資顧問会社	ライオングローバルインベスターズ	

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の名称及びその運用会社の名称等は今後変更となる場合があります。

■ 包括利益計算書

(2021年1月1日から2021年12月31日まで)
アメリカドル

収益

純損益を通じて公正価値で測定される金融資産・負債に係る純利益／損失 (△)	△3,966,642
為替差損益	△ 8,268
受取利息	1,493
収益合計	△3,973,417

費用

投資運用報酬	197,178
管理報酬	16,001
監査報酬	32,710
保管報酬	5,864
名義書換費用	6,501
受託者報酬	12,025
その他営業費用	15,972
営業費用合計	286,251

営業損失 △4,259,668

分配金 △4,945,511

税引前・分配後損失 △9,205,179

税金 —

税引後・分配後損失 △9,205,179

営業活動による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少 △9,205,179

主要投資対象のひとつである投資信託証券「Lion Global Asian High Yield Bond Fund-Lion Global Investors アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の財務諸表を委託会社にて翻訳したものです。

■ 組入上位銘柄

(2021年12月31日現在)

銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	純資産構成比
NETWORK I2I LTD 5.65% DUE 31/12/2199	インド	5.650%	永久債	4.9%
SAN MIGUEL CORP 5.5% DUE 31/12/2199	フィリピン	5.500%	永久債	4.7%
RIZAL COMMERCIAL BANKING 6.5% DUE 31/12/2199	フィリピン	6.500%	永久債	3.5%
WANDA PROPERTIES OVERSEA 6.95% DUE 05/12/2022	中国	6.950%	2022/12/5	2.9%
YANLORD LAND HK CO LTD 6.8% DUE 27/02/2024	中国	6.800%	2024/2/27	2.8%
GEMDALE EVER PROSPERITY 4.95% DUE 26/07/2022	中国	4.950%	2022/7/26	2.8%
SMC GLOBAL POWER HLDGS 6.5% DUE 31/12/2199	フィリピン	6.500%	永久債	2.6%
DAH SING BANK LTD 5% DUE 15/01/2029	香港	5.000%	2029/1/15	2.4%
VLL INTERNATIONAL INC 7.25% DUE 20/07/2027	フィリピン	7.250%	2027/7/20	2.4%
PEAK RE BVI HOLDING LTD 5.35% DUE 31/12/2199	香港	5.350%	永久債	2.4%

「ライオン アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社であるライオングローバルインベスターズが作成したデータを、委託会社にて翻訳したものです。

マネープールマザーファンド

運用報告書

第11期（決算日 2022年8月10日）

＜計算期間 2021年8月11日～2022年8月10日＞

マネープールマザーファンドの第11期の運用状況をご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債等
主な組入制限	株式への投資は、転換社債の転換及び転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得した株券に限り、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
7期(2018年8月10日)	円 10,032		% 0.0	% 75.1	百万円 1,339
8期(2019年8月13日)	10,028		△0.0	—	248
9期(2020年8月11日)	10,019		△0.1	—	182
10期(2021年8月10日)	10,011		△0.1	—	133
11期(2022年8月10日)	10,001		△0.1	—	87

(注1) 基準価額は1万円当たり（以下同じ）。

(注2) 当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		債 組	入 比	券 率
				騰 落	率			
	(期 首)		円		%			%
	2021年	8月10日	10,011		—			—
	8月末		10,010		△0.0			—
	9月末		10,009		△0.0			—
	10月末		10,009		△0.0			—
	11月末		10,008		△0.0			—
	12月末		10,007		△0.0			—
	2022年	1月末	10,006		△0.0			—
	2月末		10,006		△0.0			—
	3月末		10,005		△0.1			—
	4月末		10,004		△0.1			—
	5月末		10,003		△0.1			—
	6月末		10,002		△0.1			—
	7月末		10,001		△0.1			—
	(期 末)							
	2022年	8月10日	10,001		△0.1			—

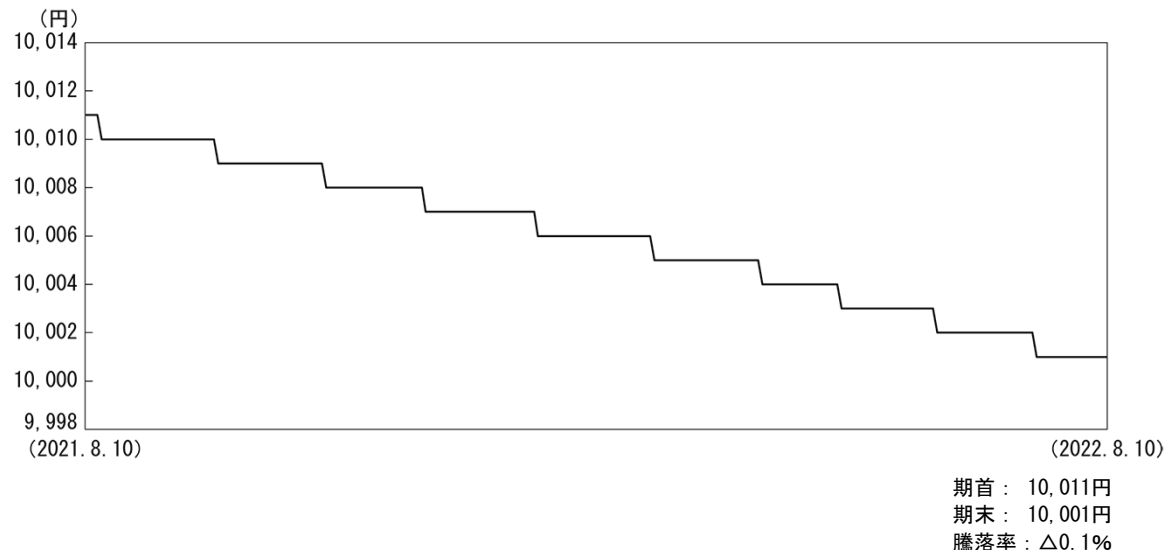
(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

○運用経過

(2021年8月11日～2022年8月10日)

■基準価額の推移



■基準価額の主な変動要因

短期金融資産の利回りがマイナス圏で推移したことから、当期末の基準価額は期首の水準を小幅に下回りました。

■投資環境

日銀によるマイナス金利政策のもと、短期金融資産の利回りは期を通じてマイナス圏内で推移しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

コール・ローン等の短期金融資産による運用を行いました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、わが国の公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■今後の運用方針

コール・ローン等の短期金融資産による運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2021年8月11日～2022年8月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.005 (0.005)	(a)その他費用= $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	0	0.005	
期中の平均基準価額は10,005円です。			

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2021年8月11日～2022年8月10日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2021年8月11日～2022年8月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年8月10日現在)

2022年8月10日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2022年8月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 87,680	% 100.0
投資信託財産総額	87,680	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

